

IV 研修計画

社会参加と自立の力を育てる授業づくり

～ 「何ができるようになるか」を明確にした授業と指導の工夫 ～

◎研修テーマ

＜テーマ設定の理由＞

昨年からテーマを「社会参加と自立の力を育てる授業づくり」として研修を行ってきた。

生徒の障害の多様化に対応するため、昨年度より自立活動の時間を中心とするコースを設置し新しく教育課程を編成した。そのことにより、生徒の実態やニーズに合ったきめ細やかな支援や教育活動が行われるようになってきた。また、キャリア教育の視点を生かした授業実践を行っており、卒業後の自立と社会参加に向けて今後も継続して指導していくことが重要である。

また平成34年度には、高等部学習指導要領が全面実施となる。新学習指導要領について研修し、理解を深めるとともに新しい学びの視点を意識した授業実践の試行も必要となる。そこで、昨年度までのキャリア教育の視点に加え、今年度はさらに「何のために学ぶのか」という学習の意義を生徒と教師が共有し、生徒一人一人の「何ができるようになるか」という到達目標を明確にした授業の創意工夫、教材の改善に取り組んでいきたい。個々の職員の授業力向上と共に、教育全体計画の見直しや学習活動の整理、教育課程の充実を図っていききたいと考え、研修テーマを上記のように設定した。

1 努力目標

- (1) 新学習指導要領実施に向けて、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成するため、生徒一人一人の「何ができるようになるか」という到達目標を明確にし、各教科・領域の指導において授業実践を行う。
- (2) 各教育課程（A，B，C各コース）の学習内容・活動を整理し、キャリア教育全体計画との関連性を明確にする。
- (3) 各種研修会への参加を通して、一人一人の教員の専門性を高める。

2 実施事項

- (1) 新学習指導要領実施に向けた校内の研究推進

① 授業実践

- ・生徒個々の実態に合わせて、「何ができるようになるか」という到達目標を明確にし、支援を行う教員間で共通理解を図り、計画的な授業実践、評価、改善する。

② 年間指導計画の整理と見直し

- ・各教育課程（A，B，C各コース）の学習内容を整理し、キャリア教育全体計画との関連性を明確にした年間指導計画を作成、実践する。
- ・各教育課程（A，B，C各コース）の学習内容と、学習指導要領の指導内容の関連性を明確にする。

③ 事例検討会や授業公開・授業後の検討会を設定し、互いの授業実践に役立てる。

- (2) 研修会

① 研究推進と教員個々の資質向上を目指して研修会を企画し、運営・調整を行う。

② 対外的な研修会については、教頭の指示のもとに実施する（地域支援部、進路部との連携を図る）。

- (3) 最新情報の発信

① 校内外の研修会の紹介や参加の調整を行う。

② 書籍、資料等の紹介や購入を行う。

- (4) 各種検査

① 各種検査の計画的な実施を進める。

② 検査器具の管理を行い、検査器具の使用状況の把握や検査用紙の補充を行う。